

子どもの水辺安全セミナー

幼児教育の現場から発信する水辺の安全
関連WEBサイトのご紹介！



ご登壇された先生方のHP・書籍



土橋先生 インタビュー記事

<https://sonae.uminohi.jp/n/n06a9fd387bae>



猪熊弘子先生の著書

子どもがすくすく育つ幼稚園・保育園（内外出版社）



森重裕二先生のHP

<http://lifejacket-santa.com/>

土橋一智先生のインタビュー記事

「リスクとともに育つ子どもの自主性」元不動産営業の園長先生が持つ保育理念」



「子どもたちに自然を体験してほしい」想いから生まれたリバーキャンプ

<https://sonae.uminohi.jp/n/n06a9fd387bae>

猪熊弘子先生の著書

子どもがすくすく育つ幼稚園・保育園（内外出版社）

主に保護者向けの内容ですが、保育者が勤務してる保育園を一步引いて、客観的な視点で見るのに適した著書です。



森重裕二先生

子どもたちにライジャケットを！

(ライフジャケットの普及・啓発)



ライジャケットの情報や、重要性をブログで更新しています。

- <http://lifejacket-santa.com/>

まずは押さえておきたい基礎知識



一般社団法人吉川慎之介記念基金

「水辺の事故を減らすために、今できること」

<https://www.youtube.com/watch?v=-M3T8NvQdgg>

「子ども安全管理士講座教科書」

<https://shinnosuke0907.net/2434/>



子どもの水辺サポートセンター（河川財団）

<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid107.html>



WEAR IT! ライフジャケットを着よう！プロジェクト
（公益財団法人マリンスポーツ財団）

<https://www.wearit.jp/life-jacket-faq/why.html>



子ども安全管理士講座教科書

保育・学校現場、地域などでの子どもの事故予防・安全啓発に！
冊子版（印刷版）は2500円 PDF版は無料



- 第1章 保育・学校現場に求められる大切な安全の理解第
- 第2章 事故を予防する考え方
- 第3章 保育事故・学校管理下での事故への視点
- 第4章 子どもの事故を知る事故の実例から考える
- 第5章 望ましい事後対応を考える
- 第6章 法律が定める子どもの安全第7章 子どもを事故から守る
地域社会

<https://shinnosuke0907.net/wp-content/uploads/2020/pdf/ChildSafetyManagerCourseTextbook.pdf>

「水辺の事故を減らすために、今できること」 4分25秒

チャンネル登録



一般社団法人吉川慎之介記念基金 チャンネル

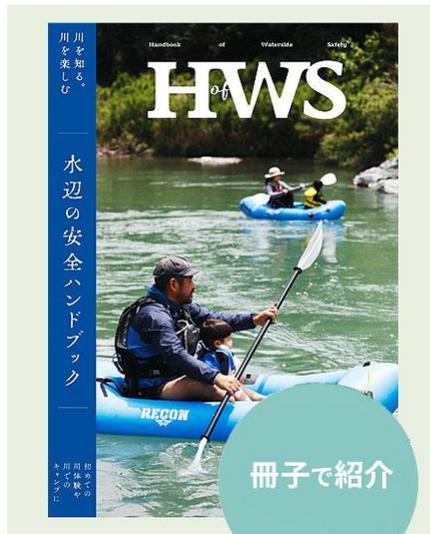
事故についての基礎知識
科学的根拠に基づいた事故の仕組み
ライフジャケットの必要性和正しい装着方法



<https://www.youtube.com/watch?v=-M3T8NvQdgg>

子どもの水辺サポートセンター (河川財団)

水の事故のデータや事故防止のエビデンスに基づいた情報
水難事故データはカラーの図表にしてみやすく加工
ダウンロードが可能で、研修資料として使えます。



<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid107.html>

WEAR IT! ライフジャケットを着よう! プロジェクト (公益財団法人マリンスポーツ財団)

- ライフジャケットについての疑問をQ & A式で詳しく・わかりやすく説明
- PDF版をダウンロードして、教材として使用できます。
- ライフジャケットレンタルステーション (無料貸し出しスポット) リストもチェックできます。



<https://www.wearit.jp/life-jacket-faq/why.html>

広げよう！研修・セミナーに役立つサイト



守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全（ライフセービング協会） <https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>



必見！夏休み前に、今すぐ授業に導入できる！水辺の安全教育（日本ライフセービング協会）
<https://www.youtube.com/watch?v=p8Am1f5xsDc&t=4s>



水辺の安全ハンドブック —印刷用pdf付— （河川財団）
<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid129.html>

主にライジャケの装着や、水の事故の基本的内容など研修に使えるサイトの紹介

守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全
(ライフセービング協会)

事前学習
みんなで考えよう
動画で学ぶ
クイズ！



<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>

必見! 夏休み前に、今すぐ授業に導入できる! 水辺の安全教育 (日本ライフセービング協会)



JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

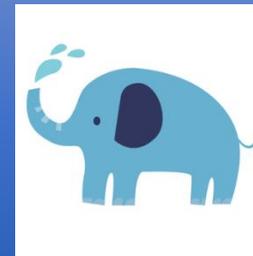
教育本部長 松本貴行 先生による授業の導入方法



<https://www.youtube.com/watch?v=p8Am1f5xsDc&t=4s>

水辺で遊ぶ前にはもう一度チェック！

ライフジャケットの装着方法や水辺で遊ぶルール



 ライフジャケットの正しい着方（日本ライフセービング協会）
<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/videos/save.html>（動画）

 河川水難事故防止！川で安全に楽しく遊ぶために
（国土交通省）
<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/anzen/>

 子どもの水辺サポートセンター（河川財団）
<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid156.html>

ライフジャケットの正しい着方 (日本ライフセービング協会)



- ライフジャケットの正しい着方を動画でゆっくりわかりやすく説明しています。



<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/videos/save.html>

保育者必見！☆☆ ①



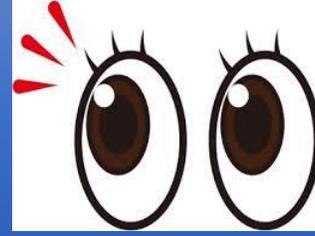
 事故防止及び 事故発生時対応 マニュアル - 大阪市 (PDF)

<https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/cmsfiles/contents/0000465/465371/kisohenn.pdf>

 幼稚園等のプール活動・水遊びでの溺れ事故を防ぐために
(消費者庁)

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/

保育者必見！☆☆②



保育所、地域型保育事業及び認可外保育施設においてプール
動・水遊びを行う場合の事故の防止について（厚労省）

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000125859.pdf>

保育所に向けた・水あそびの事故防止、発生時の 対策

事故防止及び 事故発生時対応 マニュアルー
大阪市発行
(認可保育所に向けた資料)



<https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/cmsfiles/contents/0000465/465371/kisohenn.pdf>

おもい

もちろん配置！ 水遊びには監視役

プール活動・水遊び安全チェックポイント

安全対策の確立



監視体制の確立

監視者が監視に専念できる体制作り



緊急体制の確保

心肺蘇生法・AED 操作研修及びシミュレーション研修の実施(状況に応じた役割分担の訓練)



乳幼児の特性とリスク

10 cmの深さでも溺れることがある

★安全を最優先に考え、十分な監視体制が確保できない場合は、プール活動の中止も選択肢とする

こどもの安全が最優先

監視者とは

監視体制の空白が生じないように専ら監視を行う者とプール指導等を行う者を分けて配置する



監視者はプールサイドのこどもたちと遊んだり、プール指導者の補助をしたりせず、監視に専念する者

「監視者」の目印等を決める



役割

- プール全域をくまなく監視する
- プールに参加しているこどもの人数を把握し、確認を適宜行う
- 動かないこどもや不自然な動きをしているこどもを見つける ← **静かに濡れることが多い**
- 特定のこどもに視線を固定せず、規則的に視線を動かしながら全体を監視する
異常かどうかの見極めは、**顔(特に目)**を見る
- 持ち場を離れる時は、代わりの職員を配置する

チェックポイント

1 事前管理

- 慢性疾患等の配慮を必要とするこどもへの対応の確認
- 当日プール活動ができないこどもへの対応の確認
- 排泄が自立していないこどもへの対応の確認
- プールに入る人数の確認(人数を考慮しているか)

チェックポイント

2 活動実施の判断

- プール活動ができる環境か
 - ・雨天、強風、雷が鳴ったとき
 - ・光化学スモッグ警報発令のとき
 - ・PM 2.5 の注意喚起のとき
 - ・暑さ(熱中症)指数が高いとき
 - ・土、砂等による汚染が著しいとき

一つでも当てはまる場合は中止とする

事故発生時の対応 (救命処置が必要な場合)



初期対応

応急処置ができるよう場所を空け、他の園児をその場から離す

他児の保育

(担当:)

チェックポイント

1 反応の確認

- 反応はあるか

- 反応がない
- 反応があるが、いつもの反応でない

チェックポイント

3 呼吸の確認

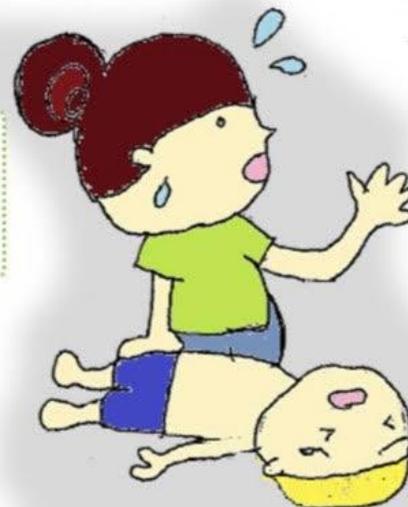
- 呼吸はしているか

呼吸がない

呼吸がある

心肺蘇生を行う
AED 装着

様子観察



※こどもの側から離れない!

呼吸をしているか等、こどもから目を離さず確認

心肺蘇生・応急処置

(担当:)

P12 を見る!

こどもの観察・記録

(担当:)

幼稚園等のプール活動・水遊びでの溺れ事故を防ぐために（消費者庁）

水遊び・プールのたびに共有してほしいHP

役割別チェックリスト、溺れ事故を防ぐための動画もあります



プール活動・水遊びに関するチェックリスト[※]
～ 監視を担当する職員・スタッフ用 ～
監視者は、監視に専念しなければなりません。
プール活動の指導や片付けをしてはいけません。
一瞬たりとも子供たちから目を離さないことが大事です。

【プール活動・水遊びの前に】
目立つ色の帽子やビブスなど、周囲から誰が監視者であるか分かるものを身につけましょう。子供たちに、「監視の先生はみんなを守る仕事が仕事なので、話しかけない、用を頼まない、一緒に遊んだりできないこと」を知らせておきましょう。

あなたが監視する位置と時間を確認しましょう。
・監視エリアの全体が見えるよう、プールサイドで水の外から監視をしましょう。
・集中力を保つため、できるだけ定期的に交代しましょう。
・複数で監視をするときは、担当エリアを確認しましょう。

園で決めた緊急時対応の手順をあらかじめ確認しましょう。
プールサイドに、連絡手段（電話など）やAEDがあることをあらかじめ確認しましょう。

【プール活動・水遊び中】
プール全体、子供たち全員を監視しましょう。
・規則的に視線を動かしながら監視しましょう。

※図1 監視者による監視の様子 ※図2 監視者による監視の様子 ※図3 監視者による監視の様子 ※図4 監視者による監視の様子

（出典）特定非営利活動法人日本ライフセービング協会編 2017年9月10日発行「プールライフガードイン職集」P.30-33

・監視場所に近いところや、浅い場所など、一般に安全と思われる場所も、監視がおろそかにならないよう、注意してください。
・溺れるときには、「助けて！」「バシャバシャ」といった状況とは限らず、実際には静かに溺れることも多いとされています。動かない子供や不自然な動きをしている子供がいかに気づきながら監視をしましょう。
・子供たちの表情にも注意し、声をかけたり注意を促したりしましょう。
・担任の先生と連携し、水が苦手な子、体の動きが促さらない子、指示が伝わりにくい子、興奮しやすい子などの子供理解の上で監視をしましょう。
・ヒヤリハットを経験したときは、情報を園内で共有しましょう。

【万一、子供たちが溺れたときには】
重篤の場合は、すぐに119番通報をするともに、救命処置をしましょう。
（注）救命チェックリストは、消費者安全調査委員会が、アンケート調査に基づいて幼稚園等から回収された溺水の経験者意見に基づき作成した。

消費者安全調査委員会
※救命チェックリストは、消費者安全調査委員会が、アンケート調査に基づいて幼稚園等から回収された溺水の経験者意見に基づき作成した。

※平成23年7月21日「情報」欄掲載
※平成23年7月21日に補正された内容で発行した「プール活動に関する資料のフォローアップ」(消費者安全調査委員会 編集)より

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/

子どもの病気やケガなどにも対応！

教えてドクター こどもは静かに溺れます

佐久総合病院 坂本昌彦先生 監修

子どもの症状や病名から病院受診のタイミングなどを教えてくれる便利なアプリです。予防接種スケジュールも搭載しています



<https://oshiete-dr.net/2017/09/28/obore/>

小学生向け動画 「リバーアドベンチャー れし者たち～」

「リバーアドベンチャー～川に魅せら



<https://www.youtube.com/watch?v=IrlkZCm11I0&t=9s>

「水辺の安全学習アプリ（B&G財団）」



水辺の安全学習アプリ



学校利用の場合はこちらから学校名をご報告ください（入力フォームが開きます）

アプリの使い方

学習リストを選ぶ

メニュー 1

水の事故を知って身を守ろう！

水の事故はなぜおきる？
どこでおきる？

1 / 11



とても楽しい海や川！暑い日の水遊びは最高ですね！
そんな楽しい水辺ですが、時と場所によっては、命を失うような危険もあります。

でも、あらかじめ知っておけば、危険を避けることもできます。

1 / 7

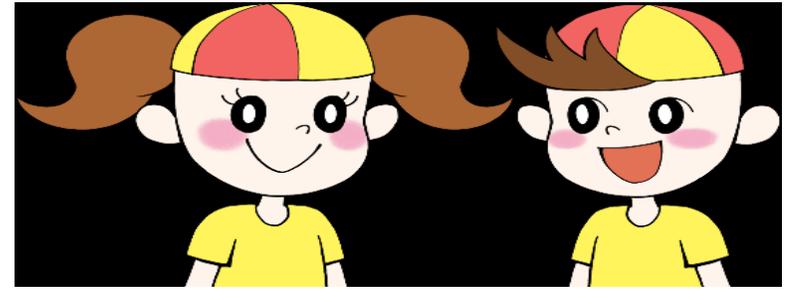
人間は水中では息ができないので、頭を水の上に出して、鼻と口で呼吸をする必要があります。

私たちは泳ぐことも、肺に息をためて水にうくこともできますが、波や水の流れの中で、助けが来るまでうき続けることはとても大変です。

水の中でうく力（ふ力）を補ってくれる道具が「ライフジャケット（PFD）」です。



<https://mizube-anzen.jp/>



これらのお役立ち情報はHPにアップいたします。ご参加者のみなさんにはメールアドレスに添付させていただきます！



一般社団法人
吉川慎之介記念基金
Shinnosuke Memorial Foundation